

## 認知症に関する活動計画（概要）

和歌山県士会は認知症支援委員会を設置し、現在10名の委員で活動している。

2022年度は、「認知症ケアに携わる専門職のリハビリテーション研修会」をオンラインにて8回行い合計1,389名（平均174名）の参加を得た（下図）。2023年度も同研修会を企画し、オンラインにて開催中である。本研修は、認知症支援における「普及啓発」を目的とし、作業療法士のみならず他の専門職、自治体職員等も参加できる内容としている。現在第2回目までが終了し延べ150名の参加を得た。

これに加え、今年度は「研究法の基礎研修会-認知症研修を題材として-」を開催し、研究法の基礎を学び、学会発表や論文投稿をにつなげることを目指している。

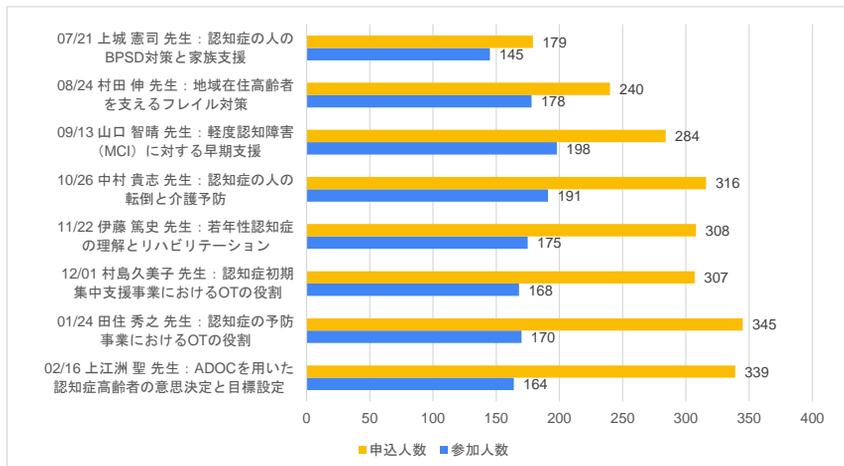


図 2022年度 認知症ケアに携わる専門職のリハビリテーション研修会

## 世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

2022年度は、JR和歌山駅前での街頭活動に県士会員を5名派遣した。2023年度は、JR和歌山駅前での街頭活動に県士会員を3名を派遣予定である。2023年度は県内各所でのオレンジライトアップおよび、9月17日に開催されるアルツハイマー・デー記念講演会の運営協力に県士会員の派遣を行う予定である。

## 認知症の人と家族の会との連携事業

認知症の人と家族の会和歌山県支部には県士会員が3名世話人として所属しており、定例会や月1回の交流会、各啓発事業等の運営協力を行なっている。2022年度は、同相談業務への県士会員1名（2回）の派遣、認知症介護家族支援事業及び若年性認知症対策支援事業の講演会の運営協力に県士会員1名の派遣を行った。

## 介護予防・日常生活支援総合事業

2022年度は、「和歌山市認知症初期集中支援チーム検討会」に1名（1回）、認知症サポーター養成講座に4名（9回）、県の認知症予防施策に3名（6回）、県士会員を派遣した。2023年度は、「和歌山市認知症初期集中支援チーム検討会」に1名（1回）、認知症サポーター養成講座4名（10回）、認知症予防事業10名（12回）、認知症カフェ3名（6回）、地域サロンに県士会員を派遣する予定である。